

市議会議員小池みよ子の

ひたすら鹿嶋のために



活動報告

Vol.19

小池みよ子
後援会会報 vol.19

【発行】
小池みよ子後援会
〒314-0034 鹿嶋市鉢形1493-2
TEL 0299-83-5252
携帯電話: 090-1690-0136

所属委員会 総務生活委員会委員長/議会運営委員会/議会改革検討協議会/鹿行広域事務組合議会議長

議会報告 平成28年度9月市議会 一般質問

議員として、私の思いを込めた一般質問です。

エル君は元気に夏を
乗り切りました♪

先の東北、北海道を襲った台風10号で被害に遭われた方へのお見舞いと、大勢の犠牲者の方々のご冥福を心よりお祈りいたします。これも地球温暖化の現象の一つと言われています。今までになかった災害が次々と日本列島を襲っています。今、私たちは、自然災害の脅威を見せつけられて、このことを対岸の火事としてではなく、いつでも我が身に起こり得ることとして身を引き締めて事に当たっていきたいですし、また当たっていただきたいと思っております。

これからも「住んで良かった鹿嶋」「住むなら鹿嶋」の実現のために努力を重ねて参ります。
皆様の思いがどの程度反映されているか読んでみてください。ご意見もお寄せください。

質問1、公共交通体制について

Q1 各地区で開かれている車座懇談会での公共交通体制構築への要望状況

高松地区での車座懇談会の中で、この公共交通体制への要望が多かったと聞いていますが、如何でしょうか。これまでの各地区の要望と合わせてお聞かせ下さい。

A1 政策企画部長

925件の中で公共交通体制に関するご意見は22件ございました。主な内容には、コミュニティバスの料金、時刻、路線に関するものが11件、乗り合いタクシーの初乗り運賃助成事業に関するものが3件でございます。

また、高松地区の懇談会の中で要望につきましては、交通空白地帯であるため、コミュニティバスの路線を見直してほしいとのご意見をいただいているところでございます。

Q2 ドア・ツー・ドアのデマンド交通システム導入の進捗状況について

今、鹿嶋市の直面する大きな課題が、この交通手段の確保かと思われれます。高齢者が気軽に外出できる手段をつくって差し上げる、高齢者が安心して免許を手放せる状況を構築していく事も、行政に望まれる重要な役目ではと思います。デマンド交通システムの導入についての進捗状況と市長のお考えをお聞かせ下さい。

A2 錦織市長

現在、市では「鹿嶋市地域公共交通網形成計画」の策定を進めております。計画の策定に当たりましては、市民アンケートや利用者アンケートを実施するとともに、人口や居住地域などの実情と現在の公共交通体系の実態を分析するなど総合的な観点から、本市の現状や課題を把握してまいります。そして、実情を把握した上で、平成29年度に再編実施計画を策定し、平成30年4月を目途に、本市の実情に合った持続可能な公共交通体系の確立に努めてまいります。

Q3 大野・潮来間をつなぐ広域路線バスの利用状況について

地方創生の目玉として今年5月から運行を開始し、まだ始まったばかりですが、利用状況をお答えください。

A3 政策企画部長

5月、6月、7月、8月の4カ月間で2,837人、このうち鹿嶋市民の利用状況につきましては、1,278人の利用がございました。一便当たりの平均乗車人数は1.72人。1,278人の市民の利用者のうち15.6%の皆様が、又カガストアから都賀駐在所前の乗車で市内の交通手段としてご利用いただいている状況でございます。

Q4 広域路線バスの今後の展望についてお聞かせください

市内外を歩くと、知らない方が多く、「本当にPRが少ないのでは？」というようなお話も、隣の行方市、潮来市の皆さんからも伺っております。平均乗車率が1.7人ということで、空気を乗せて走らせているのかなという感が私の中にあり懸念をしております。私には貴重な税金を無駄遣いしているとしたか思えないのですが展望をお聞かせください。

A4 政策企画部長

現況を踏まえまして利用者増に向けたさまざまな工夫、取り組みをしていく必要があるかと考えております。今後も行方市、潮来市と連携を図り、現在の広域路線バスのPRや利便性の向上に努めるとともに、運行実績にも注視しながら慎重に対応してまいりたいと考えているところでございます。

Q5 9月の補正予算に既に216万円でしたが、このバス運行に際しての赤字の補填ということで上げられておりますが、利用者が増えれば解消はできるのでしょうか。それともこのまま赤字を増やし続けるのか、その辺のところもお伺いできればと思います。

↓ ウラ面に続きます。



A5 政策企画部長

現在、茨城県が主催する鹿行広域の公共交通のあり方に関する会議がスタートし、また、鹿行DMOの今後の動き、あるいはこれまで取り組んできております水郷三都などの観光振興と公共交通のあり方なども踏まえながら、可能な限り利便性、利用者増に取り組みながら対応してまいります。

要望 市民は乗り合いタクシーの構築を熱望しており、この場をおかりして、再度、お願いしたいと思います

質問2、オストメイトトイレの設置状況について

Q1-1 多くの市民の集まる まちづくり市民センター（旧清真短大）への設置は

鹿嶋市で届け出のあった方は76人を超えていると聞いております。社会参加をするにあたり、一番に困るのがトイレの問題。排泄作用は時と場所、時間を選んでくれないのが最大の悩みと伺っています。多くの市民の学習の場として活用されている市民センターに障がい者用トイレとオストメイトトイレの設置を提案するものです。市のお考えをお聞かせください。

A1-1 教育委員会事務局部長

オストメイトトイレの必要性について認識、今後設置箇所や費用面などを検証しながら検討を考えております。

Q1-2 必要であると言う事で、前向きに検討されるのでしょうか。ただ認識をしているということではなく、前向きに検討していくかどうかのお答えもいただきたいのです。

A1-2 教育委員会事務局部長

繰り返しになりますが必要性については十分認識しており検討して参ります。



Q2 設置スペースのある市内の公共施設への設置は

災害の時の避難所でもある各地区公民館には是非設置をしてほしいと思います。市のお考えをお聞かせ下さい。

A2 教育委員会事務局部長

議員ご指摘のとおり、災害時には地域の避難所となる施設でもありますので、公民館のオストメイトトイレの整備につきましては大規模改修などの折に検討して参りたいと考えており、公共施設については、施設内スペースの状況、利用者からの要望などを把握し、財政的な面も踏まえて検討してまいりたいと考えております。

要望 オストメイトトイレの設置ですが、2019年に開かれる茨城国体、そして全国障がい者スポーツ大会の会場に鹿嶋市がなっております。2020年東京オリンピックに向けて、おもてなしの心の構築の為にも設置は必要かと思えます。県の方にも、オストメイトトイレの設置の普及に向けて頑張っって訴えていきたいと思えますけれども、ぜひ鹿嶋発で、鹿嶋はこんなに市民に優しい行政をしていると思っただけのよう、本当に前向きに取り組んでほしいと思えます。

質問3、空き家対策について

Q1-1 市は空き家対策をどのように進めているのか

A1-1 都市整備部長兼水道事業都市整備部長

昨年度は3件の特定空き家等の認定も行っており、廃屋対策のほか、利活用を図り乍ら取り組むことも大事であります。現在市では空き家対策の策定を進めており、次年度以降、管理不全となる空き家の発生の抑制対策として有効な空き家バンク制度や、空き家の利活用に対する補助制度についても検討していく予定でございます。

Q1-2 3件は具体的にどのような対策をとっていただけたのでしょうか、地主さんというか、その持ち主から。

A1-2 都市整備部長兼水道事業都市整備部長

2件につきましては、所有者に対し助言、指導を行い、1件については危険箇所が改善されたため、特定空き家の解除を行っております。

Q2 放置空き家についての市民からの苦情は

A2 都市整備部長兼水道事業都市整備部長

都市再生整備計画に基づく景観補助事業の活用などにより、神宮周辺の活性化あるいは空き家対策のほうに繋がればというふうに考えております。倒壊の危険性があるもの12件、そのうち3件を特定空き家、残り9件は、小規模な案件であり、所有者本人から対応する旨の報告を受けており、現在経過観察中です。

Q3 移住希望者への情報提供のシステム作りを視野に入れての対策を進めては

A3 都市整備部長兼水道事業都市整備部長

現在空き家対策計画の作成を進めており、それに基づき、次年度以降であります。空き家バンク制度や利活用の補助制度等の検討を進めています。

福祉先進地といわれている
北海道伊達市の福祉担当者によると
「オストメイトトイレの設置は常識です」
とのことす



鉢形地区で液状化対策工事が
始まりました。

あなたの声を大切に！

ブログも覗いてみてください。



皆さまの
ご意見もお気軽に
お寄せください

小池みよ子の思い 検索 <http://plaza.rakuten.co.jp/hatigata/>